

図書委員会からのおすすめの本

本好きのための 本好きに捧ぐ本

1冊目 『失敗図鑑 すごい人ほどダメだった!』

9月13日(月)放送分

まず、1冊目は 大野正人さん作『失敗図鑑 すごい人ほどダメだった!』です。

エジソンやアインシュタイン、夏目漱石など誰もが知っている偉人の失敗談から、人生における大切な事をたくさん学べる本です。

その偉人の生涯を知りつつ クスッと笑えるイラストとお話を楽しむことができます。例えば黄熱病の研究をされていて 現在は千円札の顔にもなっているほどの有名な野口英世の失敗は、アメリカ留学するために借りた大金をたった一晩で使い果たすという失敗をしました。

1つ1つのエピソードが短くまとめられていて、読書が苦手な人でも朝読の時間に気軽に読むことができます。



図書委員会からのおすすめの本

本好きのための 本好きに捧ぐ本

2冊目 『俺の残機を投下します』

9月13日(月)放送分

2冊目は 山田 悠介作『俺の残機を投下します』です。

この本は今よりも少し未来の話で、eスポーツが舞台となるお話です。残機とはゲームのプレイヤーがあとどれだけミスをして許されるかを示す許容回数でのことです。

主人公一輝は29歳。プログラマーとして世界一を目指していますが 成績は振るわず、だんだん生活も心までも荒んでいきました。そんな主人公の前に、自分と同じ顔の3人の男たちが現れます。3人はシンヤ、リュウススケ、ダイゴとそれぞれ名乗り一輝の「残機」なのだと言います。

物語が進むにつれ、様々な事件がおき、最初、「残機」3人を邪険に扱う一輝でしたが、3人と関わることで、どん底まで落ちた一輝の冷え切った心を溶かしていきます。

この本の見どころは主人公一輝が3人の「残機」と関わることによって人柄が目に見えて変わっていく所です。どのようにして変わっていくのかは 実際に読んで確かめてください。

山田悠介の作品は他にも『リアル鬼ごっこ』など映画化や漫画化など、メディア化された作品が多くありますのでそちらも読んでみてください。